

第2期

# 大湊村地域福祉計画



平成31年3月

大湊村

# はじめに



平成30年3月に「第2期大潟村総合村づくり計画」を策定しました。大潟村が誕生してから50周年を経て、100周年に向かう最初の村づくり計画です。その中で、今後の大潟村の将来像として、「住み継がれる元気な大潟村」ということを掲げております。そのための取組の一つとして地域福祉の推進は必要不可欠であり、誰もが住み慣れた地域で、自分らしくいきいきと暮らしていくことができる地域づくりが求められています。

一方で、社会環境が大きく変化してきており、少子高齢化や核家族化の進展、高齢者だけの世帯の増加、地域コミュニティの希薄化などが生じているところです。こうした状況もあって、住民が抱える課題は複雑化しており、また、従来の福祉制度では対応が難しい、いわゆる制度の狭間にあるような課題を抱える方も増えてきております。そうした課題を解決するためには分野ごとの縦割ではなく関係機関が連携した包括的な支援体制と、行政や専門機関だけではなく地域住民相互の支え合いによる地域共生社会の構築が重要となります。そうしたなか、村ではいち早く国のモデル事業に手を挙げ、平成28年度から多機関の協働による包括的な相談支援体制と地域共生社会の実現に向けた取組を推進しているところです。

今後の地域福祉全般の指針となる「第2期大潟村地域福祉計画」では、地域住民一人一人が役割を持ち、互いに支え合いながら自分らしく元気に楽しく暮らす村を目指して参ります。村の目指すべき将来像を実現するため、総合村づくり計画や各種行政計画、社会福祉協議会が取りまとめる地域福祉活動計画などと連動しながら、村民、地域団体、事業者の皆様との協働による地域福祉を推進して参ります。

結びに、本計画を策定するにあたり貴重なご意見やご提言をいただきました大潟村地域福祉計画策定委員会委員の皆様をはじめ、アンケート調査や座談会など、様々な形でご参加いただきました村民の皆様、関係各位に対しまして心から感謝を申し上げます。今後とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成31年3月

大潟村長 **高橋 浩人**



# 目 次

<b>第1章 計画の概要</b>	1
1 計画の策定にあたって	3
(1) 地域福祉計画とは	3
(2) 計画策定の背景	4
2 計画の概要	9
(1) 計画の位置づけ	9
(2) 計画の期間	9
3 計画における役割分担	10
(1) 村民・地域・行政の役割	10
(2) 社会福祉協議会との連携	12
4 計画の推進体制	13
(1) 計画の周知	13
(2) 計画の推進体制	13
<b>第2章 本村の課題</b>	15
1 地域福祉の推進に関わる本村の課題	17
(1) 基本的な課題	17
(2) 現状からみた課題	19
(3) アンケート調査の分析	34
(4) 座談会での意見	35
<b>第3章 計画の方向性</b>	37
1 計画の基本的な方向	39
(1) 基本理念	39
(2) 計画推進の視点	41
2 基本施策	42
基本施策1 ともに支え合う地域づくりの推進	42
基本施策2 きめ細かな福祉施策の推進	42
基本施策3 健康づくりの推進	43
基本施策4 安全・安心のまちづくりの推進	43
3 施策の体系	44
<b>第4章 地域福祉の推進</b>	45
基本施策1 ともに支え合う地域づくりの推進	47
(1) 地域でともに支え合う仕組みの構築	47
(2) 人権意識の醸成・権利擁護の推進	51
(3) 成年後見制度の利用促進	52

基本施策2	きめ細かな福祉施策の推進	54
	(1) 子どもたちの成長を支える支援の充実	54
	(2) 高齢期の生活を支える支援の充実	57
	(3) 障がいのある方の生活を支える支援の充実	58
基本施策3	健康づくりの推進	59
	(1) 健康寿命延伸のための支援	59
基本施策4	安全・安心なまちづくりの推進	62
	(1) 防災対策の推進	62
	(2) 安全・安心な地域環境の整備	63

<b>資料編</b>		65
1	大湊村人口推計	67
	(1) 年齢別人口の推計	67
	(2) 高齢化率の推計	67
2	アンケート調査のポイント	68
	(1) 調査の目的	68
	(2) 調査の実施状況	68
	(3) 回答者の基本属性	68
	(4) 主な調査結果	69
3	座談会のポイント	80
	(1) 座談会の目的	80
	(2) 座談会の開催状況	80
	(3) 回答者の基本属性	80
4	大湊村地域福祉計画策定委員会	84
	(1) 設置要綱	84
	(2) 委員名簿	85
	(3) 策定経過	86